

魅力的で親しみやすい
広報・広聴の推進

主管課 市長公室 秘書広報課

目指す姿

「100年間、愛される地元をつくろう。」をコンセプトに、市民が愛着と誇りを持てるまちを目指します。

目標指標

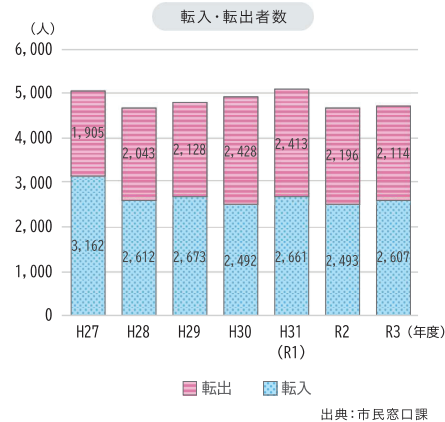
| No | 指標名 | 現状値 (2021) | 目標値 (2027) |
|----|--------------------------------|---------------|---------------|
| 1 | 広報つくばみらいアンケートで「満足」と答えた人の割合 | 62.0% | 74.0% |
| 2 | 市公式Twitter及びFacebookの合計フォロワー数 | 5,905人 | 10,000人 |
| 3 | 20歳～49歳の社会増減の比率(転入者数÷転出者数×100) | 132% | 150% |
| 4 | 市民懇談会の参加者数(年) | 82人 | 150人 |

現状と課題

情報のデジタル化が進む中で、多様な手法で行政の情報を発信できるようになりました。幅広い世代の市民に、必要な情報が伝わるよう、従来の広報紙や記者会見、ホームページに加え、SNS*などの活用を進めています。特に、本市のインナープロモーション*(I LIVE IN TSUKUBAMIRAI.*)は、市民だけでなく他自治体からも高い評価を得ており、認知度が高まっています。

また、幅広い世代から市民の声を聴くための手段として、紙媒体だけでなく、メールや電子申請などを活用した取組を進めています。さらに、市長と市民が直接、意見交換を行う「市民懇談会」を定期的に開催することで、市民の生の声を聴く機会を設けてきました。

市民と行政が相互の理解と信頼関係を築くためには、市民の声をよく聴き、全ての市民に必要な情報が届くことが重要です。そのためには、市民一人ひとりが利用しやすい情報ツールを選択することができ、様々な情報にアクセスしやすい環境整備を更に進める必要があります。



キーワード

広報紙・SNS*・ホームページ シティプロモーション*
I LIVE IN TSUKUBAMIRAI.* 移住・定住 市民懇談会

関連計画

取組方針

広報つくばみらいの魅力向上

読者アンケートや市民ニーズに対応し、市民が共感でき、楽しめる記事を充実させることで、多くの方の関心を集める広報紙を作成します。

デジタル情報の利便性向上

スマートフォンやタブレットからも見やすいホームページの調整や、SNS*などによる即時性・話題性の高い情報発信を行います。また、情報ツールの利便性を高め、誰もが情報を収集・活用しやすい環境を整えます。

シティプロモーションの推進

インナープロモーション*を実施し、市民の「市に愛着・誇りを持ち、ずっと住み続けたい、一度出てまた戻ってきたい」という思いを醸成します。市民の定住を促進するとともに、市民自らが市内外に向けて市の魅力をPRすることで、移住にもつながる仕組みを構築します。

市民懇談会の実施

市民懇談会を実施し、幅広い世代の市民の要望や課題を把握し、市政への反映を図ります。



シティプロモーションポスター

わたしたち市民にできること

- 市広報紙やSNS*などで積極的に情報を収集します。
- 市民懇談会などに参加して、意見交換します。
- イベントに積極的に参加し、まちへの愛着を高めます。
- 自らのまちの良さを市内外に発信します。
- 子どもたちにまちの魅力を伝えていきます。

